

災害時看護に関するアンケート（行政用）調査結果

池田 ヒトミ（日南保健所） 岡崎美智子（中央保健所）
宮崎県看護協会災害時看護支援検討委員会

1 はじめに

- 1) 宮崎県看護協会では、平成17年度に災害時看護支援検討委員会を設置し、「災害時看護支援活動のあり方」について検討を行っている。
- 2) 今回行政機関に勤務する看護職に対し、災害時看護に対する意識調査と実態を把握し、今後の研修及び活動等に活かすための基礎データとしてアンケート調査を実施した。

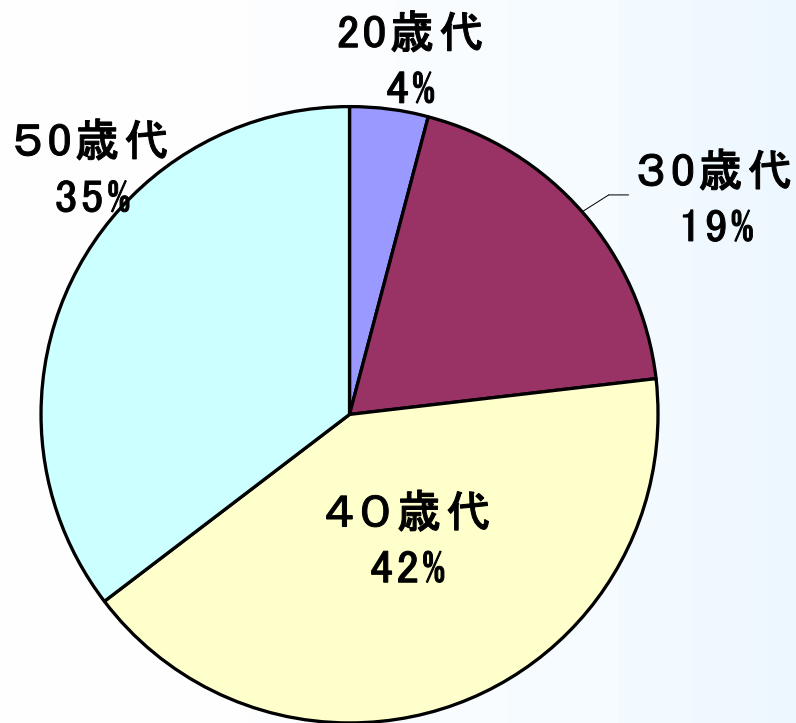
2 実施の概要

- 1) 対象：県保健所8ヶ所、市保健所1ヶ所
市町村44ヶ所の行政機関の看護職
代表者
- 2) 調査方法：アンケート方式
- 3) 調査期間：平成17年8月1日～8月31日
- 4) 回収状況：県・市保健所 9/9(100%)
市町村 38/44(86.4%)

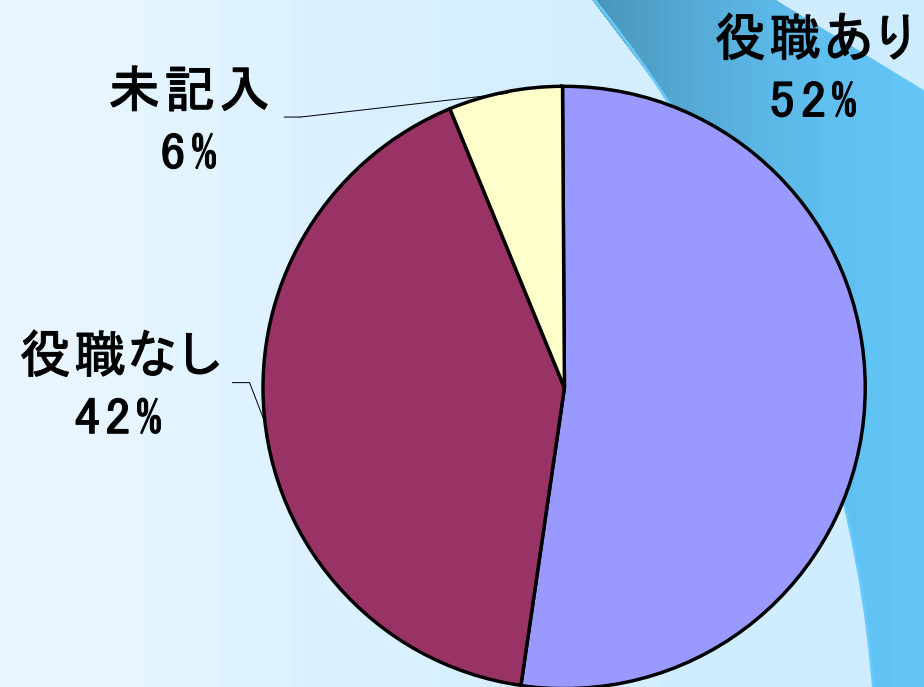
3 アンケート調査結果はアンケート項目に基づき単純集計とした

1) 記入者自身に関すること

年齢

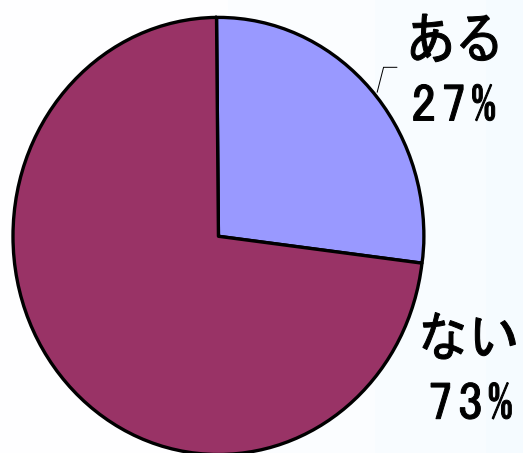


役職の有無

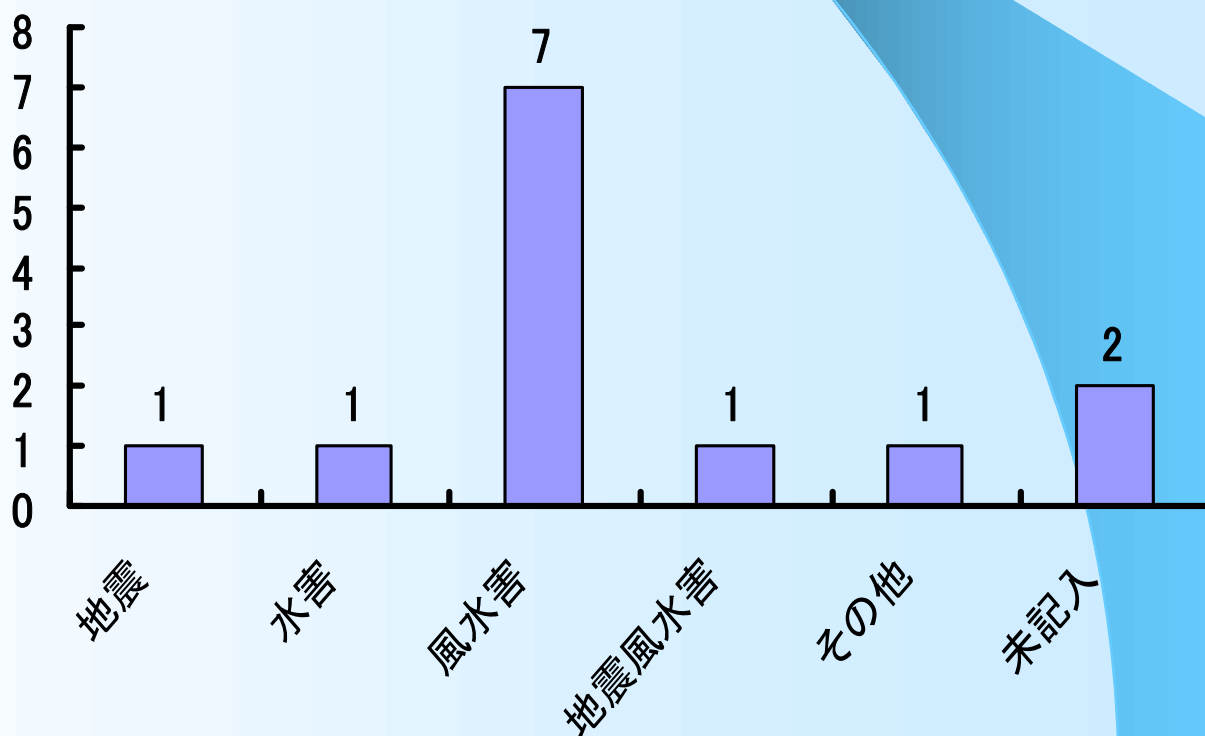


2) 災害時看護に関すること

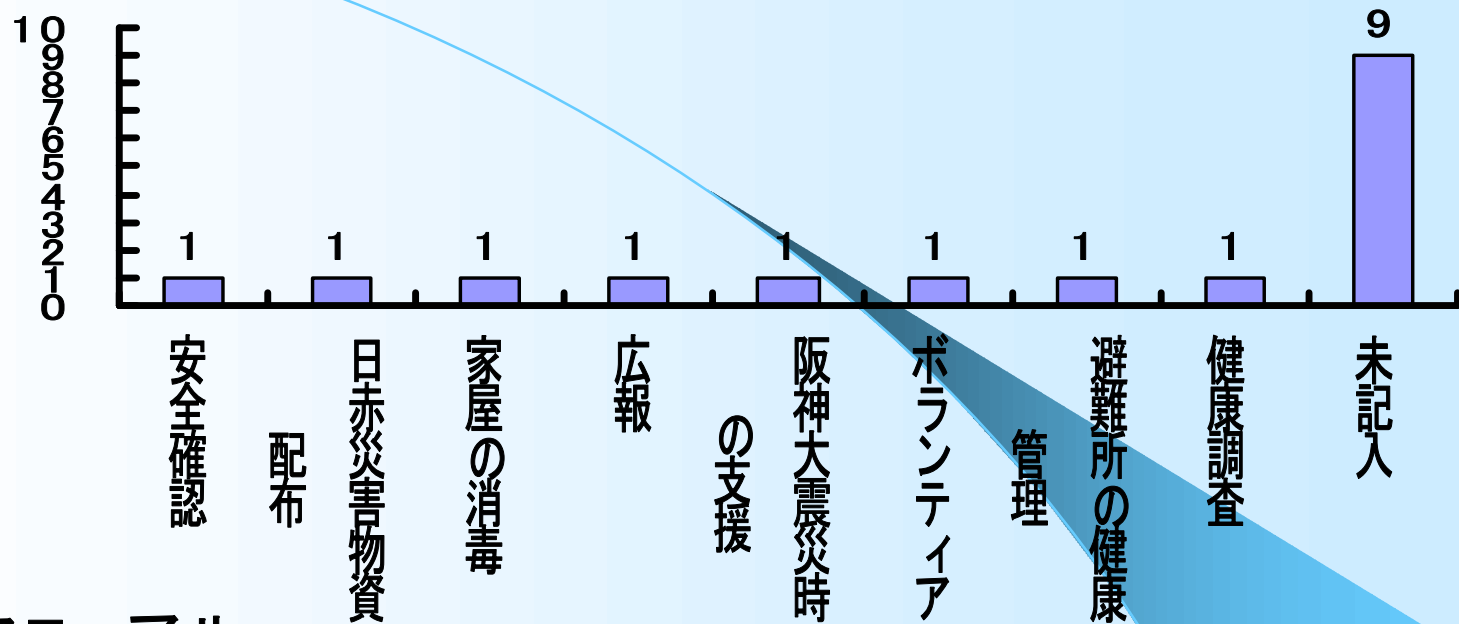
災害の経験



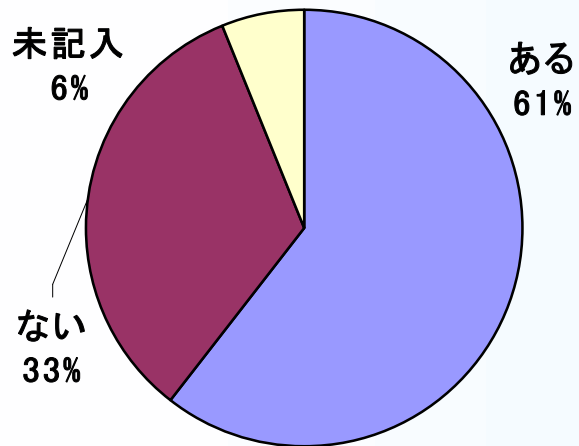
災害の経験あり



災害支援活動の内容



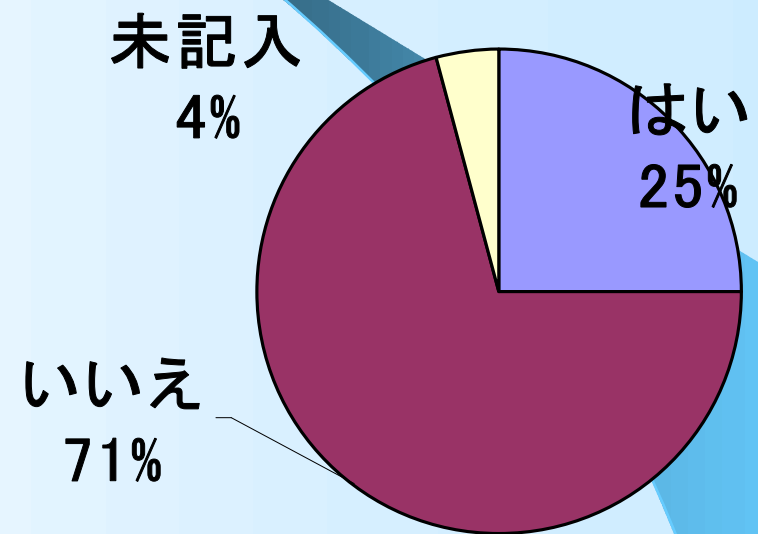
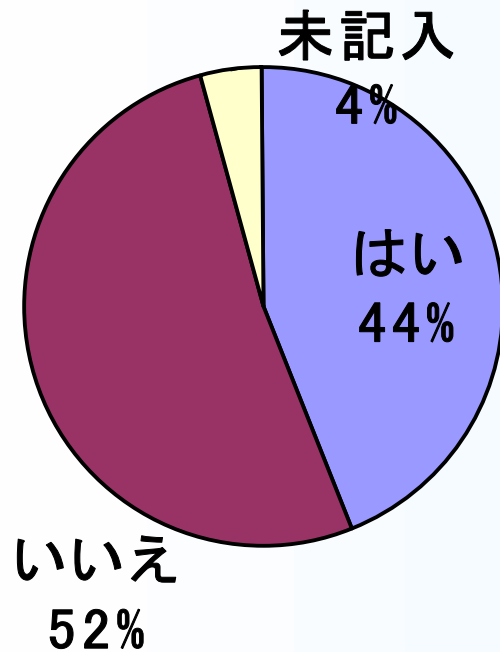
勤務部署にマニュアルの有無



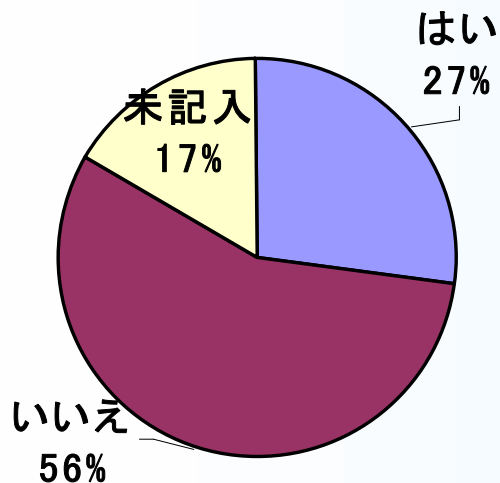
3) 日常業務について

災害発生時の自分の役割
に対する自信の有無

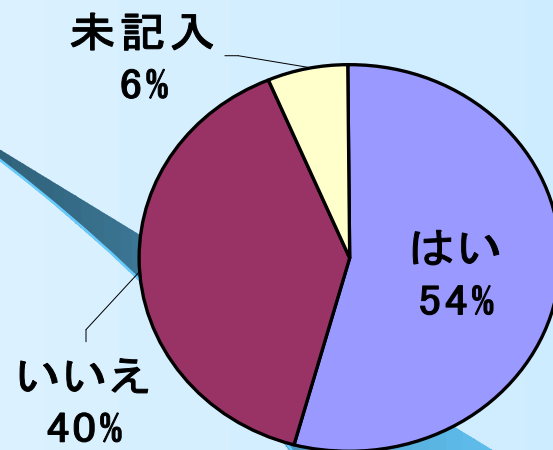
災害が発生した時自分
の役割の明確化



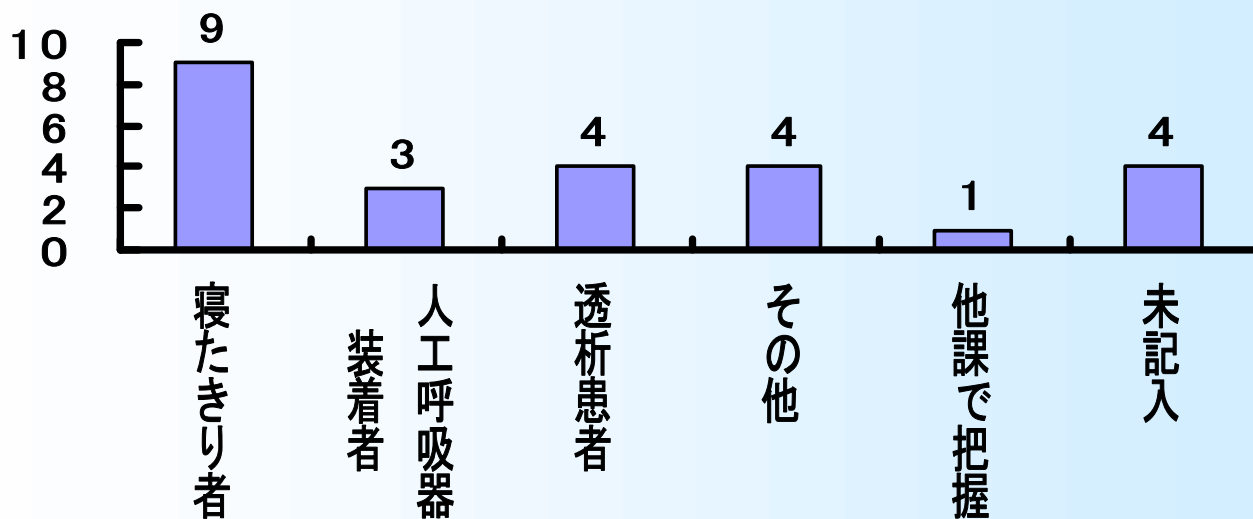
災害要支援者の把握の有無



災害発生時の他機関とのネットワークの整備

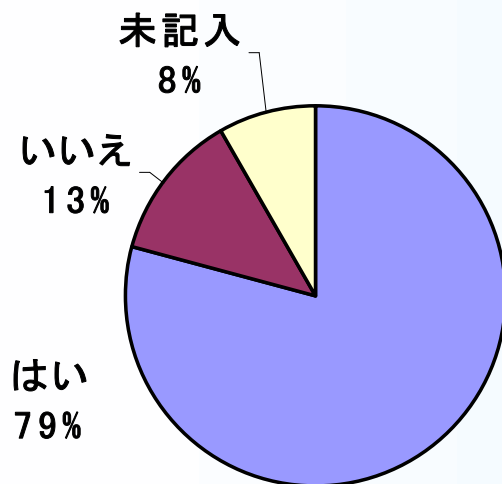


災害要支援者の内容

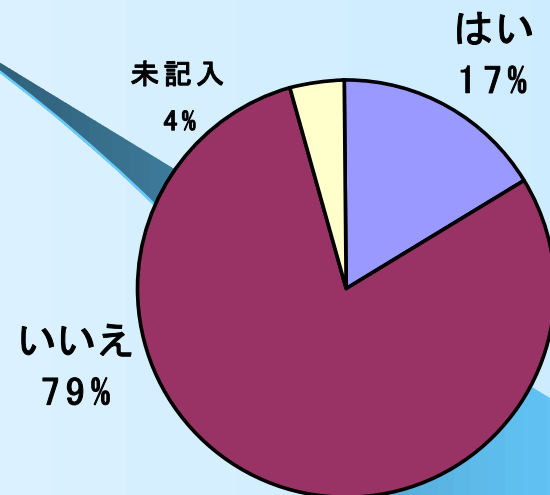


4) 災害時看護に関する知識・関心について

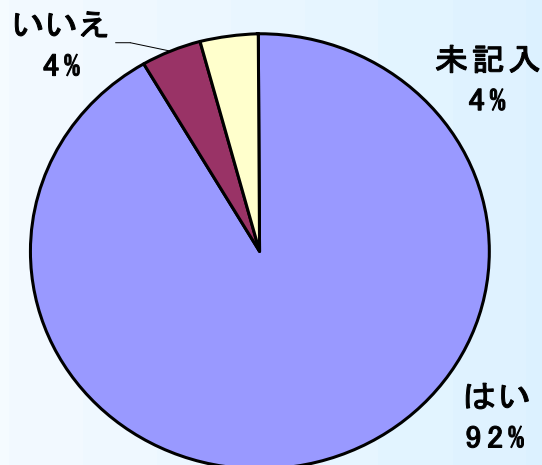
災害時看護について関心の有無



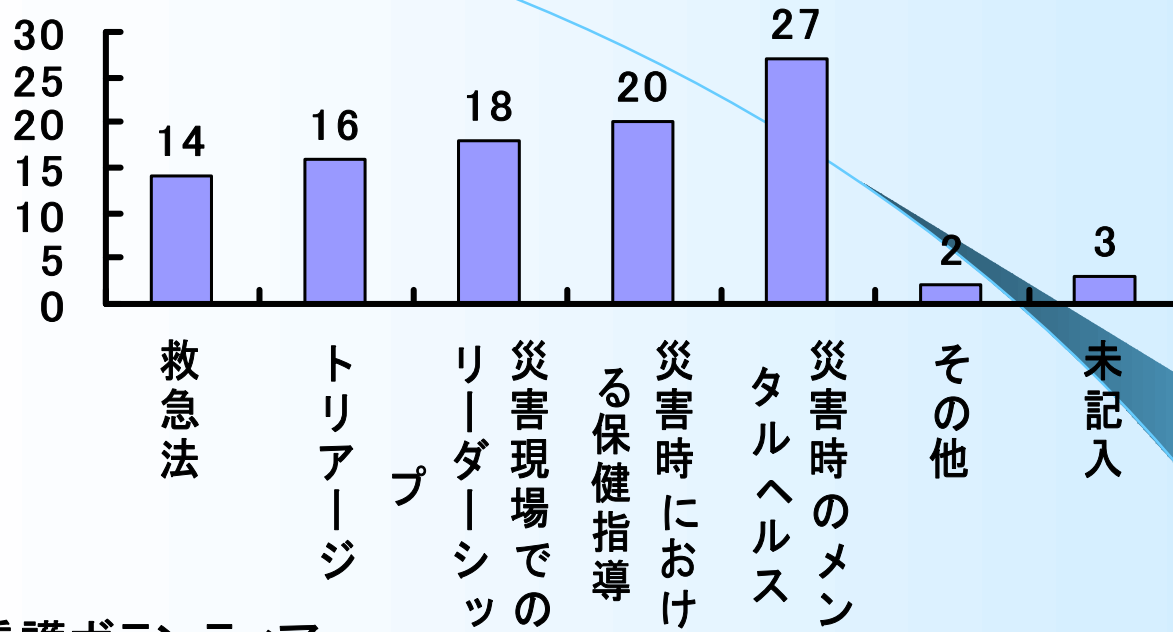
災害に関する研修や訓練受講の有無



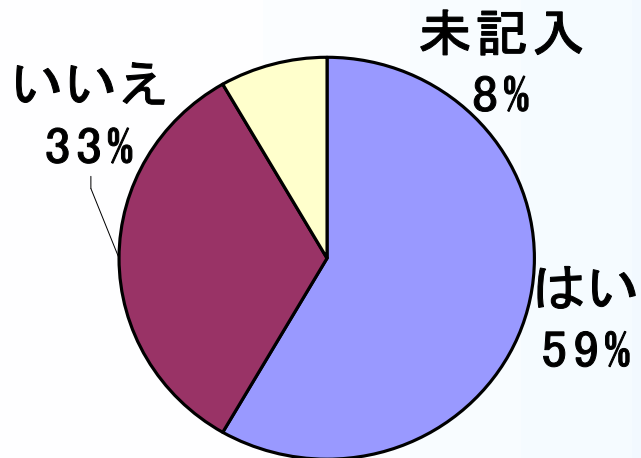
機会があれば研修や訓練の受講の有無



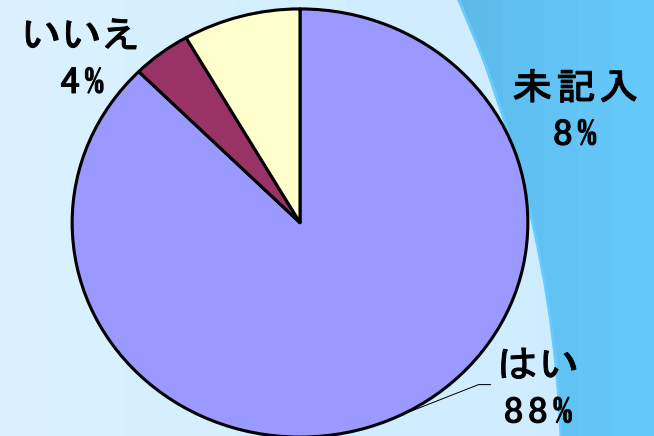
研修や訓練の内容



災害時看護ボランティア
を知っているか



長期にわたる場合災害時看護
ボランティアを活用するか



4 考察

- 1) 災害時支援活動の有無について:33.3% が経験がある。内容は安否確認、健康調査、避難所の健康管理等である。
- 2) 日常業務の中で、管内地域で災害が発生した場合52.1%が自分の役割が不明確、71%が災害支援活動に自信がないと回答している。
- 3) 平時の災害要支援者の把握は27.1%が把握している。把握していない72.9%については今後残された課題として急務に取り組む必要がある。
- 4) 危機管理業務を担っている保健所の意識の高揚を図るとともに、市町村支援の対応策を構築していく必要があると思われる。

5 結論

- 1) アンケート調査結果から、実際に研修を受講したり、実践活動の訓練及び経験者が少なく、災害時看護に自信がないという結果だった。
- 2) 地域看護に従事する保健師は予測困難な災害に対し、平時から緊急時の看護支援活動に備え、地域での災害時看護支援活動のリーダーシップが発揮できるよう、基本的な知識と技術、判断力、応用力等を習得する必要があると思われる。
- 3) アンケート調査結果を踏まえた研修企画を作成し、実施するとともに、地域の災害時ボランティア養成に取り組む必要性が急務であると感じた。
- 4) 県・市町村の危機管理・防災体制の連携と同時に災害時看護拠点ネットワークの構築と、構築されたネットワークが時間とともに薄れていくのを維持するためのメンテナンスネットワークを構築も必要と痛感した。